

学校訪問、村へき地教育研究会

11月13日(水) 村教育委員会、北部教育事務所による学校訪問があり、子ども達の様子や先生方の授業を見ていただきました。

その後の協議会では、新学習指導要領が実施されるにあたり留意しなければならないこと等についてご指導いただきました。

また、11月22日(金)には、松尾小学校を会場とした「村へき地教育研究会」に参加し、授業研究を通して、椎葉の子ども達が「確かな学力」を身に付ける方策について協議しました。



真摯に学ぶ先生方の姿が、たくましく目に映りました。



餅(もち)つき大会

11月24日(日)に餅つき大会を行いました。持久走大会開始寸前に雷鳴とともに雨が降り出し、あいにくの天気となりましたが、地域・保護者多数のご支援・ご協力により「蒸す・つく・丸める」という体験を、全ての児童ができました。



そして、秋の恵みと協力いただいた全ての方々に感謝しながら、「おいしく、おいしく」いただきました。

校長のつぶやき 「ごめんなさい」を考える…

子ども達は、時間割にある教科はもちろん、時と場に応じた言葉遣いをすること、我慢すること、善悪の判断をすること、ルールやマナーを守ること等々、よりよい人間関係を築く上で必要なスキルも日常生活の中で学んでいます。特に「ちょっとヒジが当たった」とか「そなたつもりで言ったわけではない」というトラブルは「された側」「言われた側」の気持ち次第で、もめ方が複雑になることもあります。「故意(わざと)」ではないけど、された側の気持ちになって「ごめんなさい」「ごめんね」と「その場」で言えることは、トラブル解決のための、ひとつのスキルだと思うのですが、皆さんはどう思いますか？